

## 01. ようこそ明日香へ！スタンダードコース

移動手段：  

所要時間：半日

どこから見たらいいの？という方も安心。明日香村の代表的なスポットをまわるコースです。

### 飛鳥駅

バス停「飛鳥駅」乗車、バス停「高松塚」下車後、約6分

#### 高松塚古墳・壁画館

1972年、色鮮やかな壁画（国宝）が発見され、考古学の一大ブームが巻き起こりました。隣接する壁画館では、壁画の精巧なレプリカや出土品などを展示しています。



バス停「川原」下車、約3分

#### 橘寺

飛鳥時代を代表する人物の一人、聖徳太子ゆかりの寺。聖徳太子はこの地で誕生したと伝わっています。花の天井画が美しい、「往生院」も人気。



バス停「石舞台」下車後、約5分

#### 石舞台古墳

国内最大級の方墳。飛鳥時代最大の豪族・蘇我馬子の墓という説が有力です。巨石を積み上げてできた石室は圧巻！ぜひ石室内で体感してみてください。



バス停「岡戎前」下車後、約4分

#### 飛鳥宮跡

「日本」という国が形づくられた飛鳥時代、飛鳥宮跡はまさにその中心地でした。さまざまな政治改革や日本史上有名な「乙巳の変」など、数々のドラマが生まれた場所です。



徒歩約6分

#### 酒船石遺跡

飛鳥宮跡近くの丘陵地にあり、天皇の祭祀にかかわる施設であったと考えられています。丘をのぼった先にある石造物は、手塚治虫の作品にも登場しています。



徒歩約10分

#### 飛鳥寺

日本最古の本格的寺院。蘇我馬子の発願により建立された飛鳥寺は、国家の一大プロジェクトとして、東アジアの最新技術を駆使して造営されました。



バス停「飛鳥大仏」乗車、バス停「橿原神宮前駅」下車すぐ

#### 橿原神宮前駅

## 02. 気軽に！ サクッと散策コース

移動手段：  
所要時間：約2.5時間

飛鳥駅周辺のスポットを徒歩で散策できるコース。時間に余裕がない方にもおすすめです。

### 飛鳥駅

徒歩約3分

### 岩屋山古墳

飛鳥時代につくられた方墳。石室内に入れる数少ない古墳のひとつです。「日本考古学の父」と呼ばれるウィリアム・ゴーランド氏に、「舌を巻くほど見事な仕上げ」と言わしめた石室は必見です。



徒歩約7分

### 猿石

4体の石造物の総称で、いまだ用途不明な謎の石。それぞれ、向かって左端から女・山王権現・僧・男と呼び名がついています。愛嬌ある顔立ちにも注目です。



徒歩約10分

### 鬼の雪隠・俎

もともとは古墳の一部だったとされる史跡。その昔、鬼が旅人を捕まえ、大きな石の俎で調理し、雪隠（トイレ）で用を足したという伝説が残っています。



徒歩約4分

### 天武・持統天皇陵

「日本」の国づくりに大きく貢献した天武天皇・持統天皇夫婦が合葬されています。飛鳥時代の天皇にのみ許された八角形の古墳です。



徒歩約15分

### 高松塚古墳・壁画館

1972年、色鮮やかな壁画（国宝）が発見され、考古学の一大ブームが巻き起こりました。隣接の壁画館では、壁画の精巧なレプリカや出土品などを展示しています。



徒歩約17分

### 飛鳥駅

### 03. 奥飛鳥まで！癒しのサイクリングコース

移動手段：   
所要時間：約3.5時間

自転車で奥飛鳥までサイクリング。明日香の里山を走りながら、史跡も自然も満喫できるコースです。

#### 飛鳥駅

約5分

##### けんごしづか 牽牛子塚古墳

全国的にも珍しい、八角形の古墳。飛鳥時代の天皇にのみ許された形です。中国思想の影響を受けつつも、日本独自に生み出されました。巨大な一個の岩をくりぬいてつくられた石室は必見です。被葬者は齊明天皇とその娘・間人皇女とする説が有力です。



約11分

##### 亀石

明日香村に点在するミステリーストーンのひとつ。顔立ちが亀に見えることから、その名がついたともいわれています。いまだ謎に包まれた石、一体なんのためにつくられたのか、考えてみるのも面白いかもしれません。



約3分

##### 川原寺跡

乙巳の変で活躍した天智天皇（中大兄皇子）が、亡き母・齊明天皇のために建立した寺跡。のちに国家寺院（官寺）として扱われるほどの大寺院でした。日本で初めて写経を行った場所でもあります。



約7分

##### 石舞台古墳

国内最大級の方墳。飛鳥時代最大の豪族・蘇我馬子の墓という説が有力です。巨石を積み上げてできた石室は圧巻！ぜひ石室内でその大きさを体感してみてください。



約8分

##### 稲渕の棚田

「日本の棚田百選」のひとつでもある棚田。日本の原風景を思わせる、どこか懐かしい景観が広がっています。四季折々の美しい表情を見ることができます。



約3分

##### 飛び石

飛鳥川上流にある石橋。現存する日本最古の歌集「万葉集」にも登場しており、かつて、多くの和歌が詠まれたであろう場所です。飛鳥時代の人々も、きっとここを通過していたのではないのでしょうか。



約15分

#### 飛鳥駅

## 04. ぐるっと、あすか堪能コース

移動手段：   
 所要時間： 半日

点在する史跡を車で効率よくまわりたい方におすすめのコースです。

### 飛鳥駅

約5分

#### キトラ古墳・四神の館

飛鳥時代の終わり頃につくられた円墳。高松塚古墳に次いで、壁画が発見されました。壁画には東アジア現存最古の天文図も描かれており、中国で観測された天文図であることがわかっています。



約5分

#### 高松塚古墳・壁画館

1972年、色鮮やかな壁画（国宝）が発見され、考古学の一大ブームが巻き起こりました。隣接の壁画館では、壁画の精巧なレプリカや出土品などを展示しています。



約7分

#### 石舞台古墳

国内最大級の方墳。飛鳥時代最大の豪族・蘇我馬子の墓という説が有力です。巨石を積み上げてできた石室は圧巻！ぜひ石室内で体感してみてください。



約5分

#### 岡寺

創建は約1300年前、天智天皇の勅願によって建立されたとされ、日本初の厄除け霊場としても有名。あじさいや紅葉など、季節の植物を楽しめるお寺としても人気です。



約5分

#### 飛鳥寺

日本最古の本格的寺院。蘇我馬子の発願により建立された飛鳥寺は、国家の一大プロジェクトとして、東アジアの最新技術を駆使して造営されました。



徒歩約17分

#### 飛鳥資料館

飛鳥の歴史と文化を紹介する資料館。一見しただけでは分かりにくい史跡や、地中に眠っている史跡なども分かりやすく展示しています。庭園に集結した村内点在の石造物（レプリカ）もお見逃しなく。



## 05. 修学旅行にも。あすか探索コース

移動手段：   
所要時間： 半日

数ある見どころの中から、大人も子どもも楽しめるスポットを選びました。  
謎を楽しみながら探索しましょう。

### 飛鳥駅

ようこそ明日香村へ！

約1400年前～1300年前の飛鳥時代、この地は政治や文化の中心地でした。今の日本につながる国の基礎をつくった時代です。明日香村には、当時つくられたものが今もたくさん眠っています。明日香村をめぐるながら、当時の記憶をたどってみましょう。

約5分

### キトラ古墳・四神の館

明日香村にはたくさんの古墳（古代のお墓）があります。キトラ古墳には、「壁画」といって、古墳の壁に絵が描かれていました。キトラ古墳に描かれていた天文図は、東アジアで今も残る最も古いものです。他にも、四神という中国神話に登場する生き物や、十二支などが描かれていました。古墳壁画体験館「四神の館」では、キトラ古墳について詳しく展示しています。



約5分

### 高松塚古墳・壁画館

キトラ古墳よりも先に壁画が見つかったのが、高松塚古墳です。1972年のことでした。1000年以上も前の色あざやかな絵が発見され、日本中が驚きました。壁画には人間も描かれていて、その中の女性4人組は「飛鳥美人」と呼ばれています。なんだかアイドルみたいですね。高松塚古墳壁画館では、壁画のレプリカを見ることができます。



約5分

### 橘寺

日本史の有名人のひとり、聖徳太子。橘寺は、聖徳太子が生まれたと伝わる場所につくられたお寺です。聖徳太子は、外国とも交流をしながら、天皇たちと協力して国づくりをすすめました。橘寺には、聖徳太子の像や、聖徳太子がかわいがっていた「黒駒」という馬の像があります。



約5分

## 石舞台古墳

いしふたい

石舞台古墳は、四角い形の古墳です。周りの土がなくなってしまい、土に埋まっていたはずの部屋が外に見えています。巨大な石を何個も積み上げてつくられました。明日香村の中でも特に大きい古墳で、とても偉い人のお墓だといえます。それにしても、こんなに大きな石、どうやって運んできたのでしょうか？



約5分

## 飛鳥宮跡

あすかきゆうせき

飛鳥宮跡は、天皇が暮らし、政治を行っていた場所です。今はのどかな田園風景が広がっていますが、噴水付き庭園もある立派な宮殿がありました。教科書にでてくる「乙巳の変」もここで起きました。ドラマやアニメの名シーンになるような出来事が、ここではたくさん起こっていたはずですが。



約5分

## 酒船石

さかふねいし

酒船石は、村にあるミステリーストーンのひとつ。「祭祀」といって、天皇が儀式をおこなう場所だったと考えられていますが、はっきりとはわかっていません。この石はなにに使われたのか、これまで多くの人々が考えてきました。う～ん、見れば見るほど、不思議な石です。みなさんはどう思いますか？



約5分

## 奈良県立万葉文化館

飛鳥時代の人たちはどんな暮らしをしていたのでしょうか？そのヒントが、この施設にあります。また、また、人々の暮らしの身近にあったのが「和歌」です。当時の人々は、自分たちの気持ちを歌で表現していました。今のSNSみたいなですね。現在残っている一番古い歌集『万葉集』には、かれらの歌も残っています。ここでは、当時の暮らしや万葉集について、わかりやすく紹介しています。さあ、古代の生活を少しのぞいてみましょう。



約5分

## 飛鳥寺

あすかでら

飛鳥寺は、日本で初めて本格的に建てられたお寺。中国や朝鮮半島から伝わった、最新の技術でつくられました。当時つくられたものの多くは、外国の最新技術が使われています。また、仏教や法律などさまざまな文化や考え方もとりいれ、悩み考えながら、国づくりを進めていきました。明日香に残る遺跡は、彼らの努力の証ともいえるでしょう。飛鳥寺の建物は燃えて残っていませんが、大仏は今も当時と同じ場所に座っています。今の時代を見て、大仏さまはなにを思っているのでしょうか。



## 06. 「飛鳥・藤原の宮都」ダイジェストコース

移動手段：   
所要時間： 約5時間

「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産をめぐるコース。明日香村が初めての方にもおすすめです。

### 飛鳥駅

6世紀末から8世紀はじめの飛鳥時代に、政治・文化の中心であった「飛鳥・藤原」。現代まで良好に保存されてきた遺構からは、東味アジアとの交流を図りながら国の基礎をつくり、「日本」が成立していった過程をみることができます。

約6分

### 高松塚古墳・壁画館

長い古墳文化の終盤にあたる飛鳥時代。飛鳥・藤原の古墳は、前方後円墳などに比べるとサイズも縮小され、新しいタイプの古墳も見られるようになります。高松塚古墳はなんといっても、石室に描かれていた色鮮やかな壁画が特徴。東アジア世界の思想・芸術の影響をみることができます。



約10分

### 川原寺跡

飛鳥時代には初めて寺院が建立され、次々と寺院が建てられるようになります。川原寺は天智天皇が亡き母・齊明天皇のために建立し、のちに国家寺院（官寺）として扱われるほどの大寺院でした。造営する際に用いられる尺の長さや出土品などから、中国の影響を受けていたことがわかっています。



約2分

### 橘寺

飛鳥時代初め頃に建立された尼寺跡。伽藍配置（寺内の建物配置）は朝鮮の影響を受け、また、出土品からは中国の影響が推定されます。焼失や再建を経て、現在は僧寺として受け継がれています。聖徳太子誕生の地としても有名。



約7分

### 石舞台古墳

国内最大級の方墳。古墳の形状は中国文化の影響を受けており、当時の最新技術を用いてつくられました。その大きさと形状から、前方後円墳に代わる権力者の墳墓の形と考えられ、その姿を今に残しています。



約5分

### 飛鳥宮跡

「日本」という国が形づくられた飛鳥時代、飛鳥宮跡はまさにその中心地でした。天皇がかわるごとに場所を遷していた宮殿はしだいに一カ所に定着するようになり、ここには7時期にわたり宮殿がおかれました。さまざまな政治改革や日本史上有名な「乙巳の変」など、数々のドラマが生まれた場所です。



約4分

## 飛鳥京跡苑池（休憩舎）

律令制度の発展とともに、宮殿のまわりには政務や祭祀、迎賓などのための施設が増設されていくようになります。飛鳥京跡苑池もそのひとつで、宮殿付属の庭園がありました。中国や朝鮮半島からの影響がみられる一方で、日本独自の構造や特徴もあることから、のちの日本庭園につながる最古の事例ともいえます。



約4分

## 酒船石遺跡

飛鳥宮跡近くの丘陵地にある遺跡。丘のふもとにある湧水施設の発見により、天皇の祭祀にかかわる施設との説が有力になりました。水による祭祀は、古墳時代より続いてきました。海外からの最新技術を活用しながらも、日本の文化的側面も残した遺跡といえます。



約4分

## 飛鳥寺

日本最古の本格的寺院。蘇我馬子の発願により建立された飛鳥寺は、国家の一大プロジェクトとして、東アジアの最新技術を駆使して造営されました。創建当時の建物はすでに焼失しているものの、五重塔を中心とした荘厳な寺院であったことが分かっています。飛鳥寺建立をきっかけに、次々と寺院が造営され、権力の象徴も古墳から寺院へと推移していくこととなりました。



約3分

## 飛鳥水落遺跡

日本最古の水時計台跡。中国から伝来したと考えられています。水時計の登場は、本格的な時刻制度の導入であると同時に、「皇帝が領土と時間を支配する」という中国思想に基づいた、天皇による時間支配の象徴ともみることができます。



約10分

## 天武・持統天皇陵古墳

「日本」の国づくりに大きく貢献した、天武天皇・持統天皇夫婦がともに眠る八角形墳。八角形の古墳は飛鳥時代に登場し、天皇にのみ許された形でした。また、のちに遷都する藤原宮の朱雀大路との直線上に古墳があることから、藤原宮の設計とあわせて古墳も計画されていたことが分かります。



約6分

## 飛鳥駅